

事業所  
リレー  
つうしん



this month  
10月

中部事業所

## 産業医の先生

◎50人以上の事業場では産業医が必要です。

長年、産業医の先生を探してきましたが、なかなか受けてくださる方が見つからず、ようやく3年前の2020年10月小田先生が夢コープの主旨に賛同、契約となり大感激でした。

それ以来、毎月第4火曜日に中部事業所に来ていただき、スタッフやヘルパーが受けた健康診断の結果の確認・検査の助言、ストレスチェックの結果についても対応をお願いしています。精神科が専門のため、『高齢者の鬱・認知症について』『様々なご利用者と関わる上でのメンタルの持ち方』『障害ごとの傾向と対処方法』など話を聞く機会が持てることはとても心強いです。

「先生が来た時に聞いてみよう」と、頼りにさせてもらい、援助方法の見直しにつながっています。「先生頼りにしています。」



特定非営利活動法人ワーカーズコープ夢コープ

2023.10.1 No.356

# 夢コープニュース



〒420-0851 静岡市葵区黒金町12-5 丸伸ビル6F  
TEL (054) 275-1100 / FAX (054) 275-1133  
MAIL honbu@yumecoop.jp / URL http://www.yumecoop.jp/

毎年夢コープではケアマネジャーを対象にスーパーバイズ研修を行っています。初めに事例提供者のケアマネジャーから、ご利用者の基本情報や支援の経緯について説明があります(名前や住所は伏せられています)。参加者はこの説明と事前資料からご利用者の生活や思いなどを想像し、不明なことに対して様々な質問をします。それらの質問に事例提供者が回答するというやり取りが何度も行われます。

このような過程から、ケアマネジャー自身が今までと異なる視点を見つけ、別の角度からご利用者や家族を理解していく必要があることに気づきます。どう関わっていくべきかの悩みに光が見えてきます。

この研修から分かるのは、ご利用者を理解し援助するには情報がいかに大切かということ。ケアマネジャーは様々な

関係者から集まってくる情報を整理し、支援に繋げています。

私たちはヘルパーやデイ職員としてご利用者の近くで接していますが、その時にポロっと出た本音を聞くことがあります。また、これまでの思い出や家族との関わりなどその方の歴史を知る機会も多いです。これらの情報は他の情報と繋げることで大きな意味を持つことがあります。新しい発見があったら、ぜひサ責やCo.またはデイの管理者に伝えてください。ケアマネジャーに伝えます。

情報を共有することは、個ではなくチームでご利用者を支えているということ。ケアマネジャーを含めた一体感のあるチーム作りを目指していきたいと思えます。



理事長 杉井 初世

## 定例理事会 9月22日(金) 議決事項

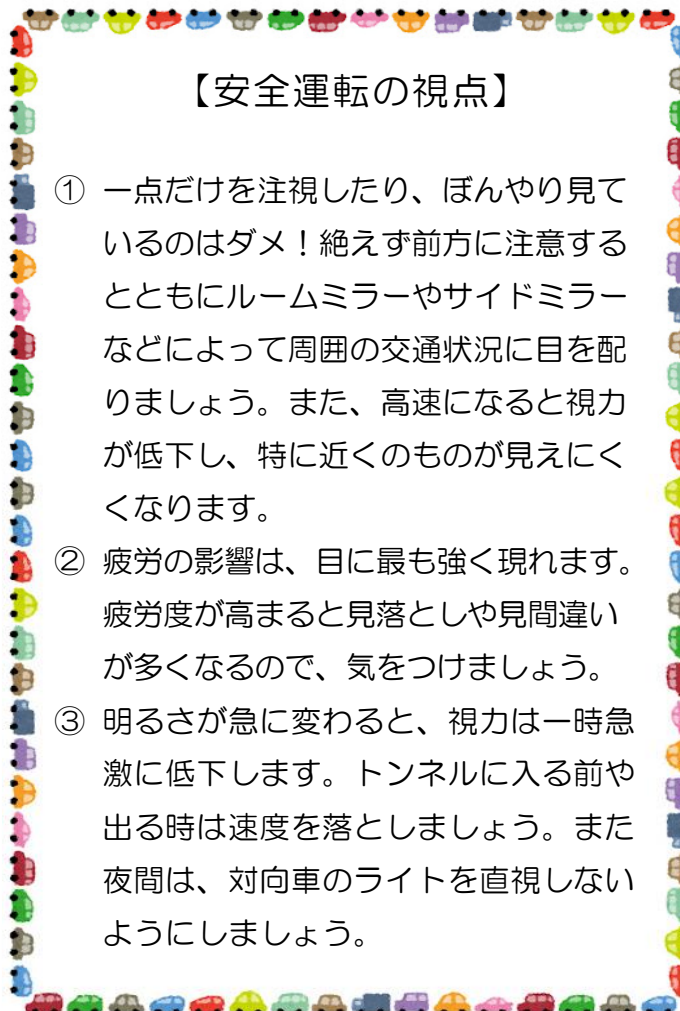
- ① 給与規程改定
- ② 文書管理規程改定
- ③ 非会員の職員発生に伴い、6つの規程の対象者の改定

## 8月度活動結果報告

夢コープ職員数	338名	実働数	323名
事業	活動時間数		
くらしの助け合い	2,194.25時間		
介護保険 訪問系サービス	4,619.75時間		
障害福祉サービス	1,751.50時間		
居宅介護支援	要介護	総合支援	
	482名	201名	
施設名	開所日	当月利用者数	利用者数/1日
どうその家	26日	21名	7.15名
夢コープふじ	27日	13名	5.37名
夢コープいた	18日	27名	6.05名

## 交通安全スローガン

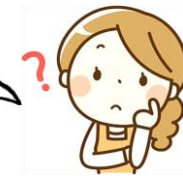
慣れた道 無事故続ける 帰り道



## 【安全運転の視点】

- ① 一点だけを注視したり、ぼんやり見ているのはダメ! 絶えず前方に注意するとともにルームミラーやサイドミラーなどによって周囲の交通状況に目を配りましょう。また、高速になると視力が低下し、特に近くのものが見えにくくなります。
- ② 疲労の影響は、目に最も強く現れます。疲労度が高まると見落としや見間違いが多くなるので、気をつけましょう。
- ③ 明るさが急に変わると、視力は一時急激に低下します。トンネルに入る前や出る時は速度を落としましょう。また夜間は、対向車のライトを直視しないようにしましょう。

## 認知症の「なぜ?」「どうして?」新 シリーズ



### 事例 5. 「サラダが怖い」と食べないAさんの心の中は?

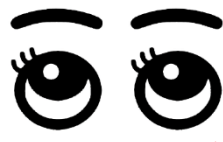
#### 対応のポイント

Aさんはサラダの野菜についているドレッシングのバジルを小さな虫と見間違えていたために食事をとろうとしませんでした。

ご飯の上ののったふりかけを虫だと思い込むなど、食事の見た目に原因があります。その他、口内炎や虫歯、入れ歯が合わなかったりしていること、便秘や薬の副作用、手首の関節痛等、さまざまな原因が考えられます。自分で訴えることが苦手になっているので、日ごろから観察し、本人の立場になって原因を推測し、適切にサポートすることが大切です。



10月10日



目の愛護デー

# めからウロコな めのはなし

いまこの文章が読めるのも、景色を眺めたり、  
友達の笑顔が見られるのも、目が健康だから  
です。大切な目を守る為、定期的に眼科で  
検査してもらうようにしましょう。

## 情報の約80%は目から入ります。

見る、聴く、嗅ぐ、触る、味わう。私たちは五感から世界を知ります。なかでも目からの情報は、全体の約80%を占めると言われています。

## 17才の約3割が、0.2以下の裸眼視力です。

合わない眼鏡やコンタクトレンズは、目と体に負担をかけます。また、見えにくいのは他の病気が原因かもしれません。

## 年間100万件もの白内障手術で、多くの人が見力を取り戻しています。

白内障は、目の中のレンズが濁る病気。年をとるとかかりやすく、世界では多くの人がこの病気で視力を失っています。でも今の日本では痛みの少ない安全な手術で白内障を治すことができます。

## 毎年1万人に1人が網膜剥離になっています。

ものを見るための神経の膜、網膜がはがれる目の病気を網膜剥離といいます。視界にひものような影が浮かび、目の動きについてまわる飛蚊症は、網膜剥離の前触れのこともあります。飛蚊症かな、と思ったら眼科で検査をうけることをおすすめします。

## 約70万人の人が加齢黄斑変性にかかっています。

網膜の中心にある黄斑が老化し、異常な血管を生じる病気です。放っておくと深刻な視力の低下を引き起こす恐れがあります。物がゆがんだり、暗く見えたら、眼科へいきましょ。

## 40歳以上の20人に1人が緑内障です。

緑内障は、眼圧で視神経が駄目になり、視野が欠ける病気です。自覚症状があまりなく、進んでしまってから気づく人がほとんどですが、いちど欠けてしまった視野は元にもどりません。

## 日本で約166万人もの人が、糖尿病網膜症にかかっています。

糖尿病により網膜の血管が障害され、眼底出血を起こす病気です。気づかない間に進行し、自覚症状が現れた時は、すでに失明の危機に瀕していることがあります。

## ドライアイ

目の表面に広がっている涙が失われ、目の不快感や見えにくさを生じる病気です。日本で2200万人もの患者がいるといわれ、さらに増加しつつあります。症状は「目がかわく」だけでなく、「かすむ」「まぶしい」「疲れる」「痛い」「ゴロゴロする」「赤い」「涙が出る」「目ヤニがでる」など、さまざまです。

## 網膜色素変性症

光を感じる組織である網膜に異常がみられる遺伝性の病気で、日本では人口10万人に対し18.7人の患者がいると推定されています。特徴的な症状は、夜盲(やもう:暗いところでものが見えにくい)、視野狭窄(視野が狭い)、視力低下の3つです。進行性の疾患です。

参考 日本眼科学会ホームページ、他

## 「ロービジョンケア」って聞いたことある？ 目の機能を最大限活用する方法

何かの病気やけがなどで視力が低下したり視野が狭くなったとき(または、そうなりそうなとき)、眼科では検査をして、その治療を行います。しかし、今の医学では残念ながら、治療効果が十分得られずに、視覚障害に至ることもあります。少しでも保持されている機能を最大限に活用し、できるだけ快適な生活を送れるよう支援する眼科医療や福祉の事を、「ロービジョンケア」と言います。

拡大鏡、遮光メガネ、歩行訓練、白杖など、中には慣れるまで繰り返し練習しなければいけないものもあります。眼科や自治体の福祉担当窓口で最新情報をキャッチできるようにしておく心強いです。

## 【 同行援護 】

視覚障害者の外出を援助します。

夢コープでは、今年8月には一カ月で36人の方の同行援護を行っています。

「同行援護」の業務内容は「**移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報を提供する**」と厚生労働省で定めています。情報提供には「言葉によるもの」と「同行援護従事者の体の動きから伝わるもの」があります。また、『場面や動きが変化するときには、必ずしっかり止まること』『止まったら目の前の状況やこれからの動きを、なるべくわかりやすい言葉や手で導くこと』で伝えます。

この仕事に関わるためには、「同行援護従業者養成研修」を受講する必要があります。夢コープでは申請により、受講費用の補助金を(受講料の半額、千円未満は切捨て)支給しています。興味のある方は事業所にお問い合わせください。

例えば、

- ・週2回、1回2時間の散歩を兼ねた買い物
- ・通院の付き添い
- ・美術館の見学
- ・映画館の付き添い
- ・会議の出席
- ・お墓参りの付き添い
- 他

